

星、還る――。

北斎の描いた神奈川沖浪裏

この一枚の絵が世界に衝撃を与え

巨星への道を開いた――。

星に祈り続けた北斎が、傑作を残した

横浜の地に、いま再び、星のロマンスが還る。

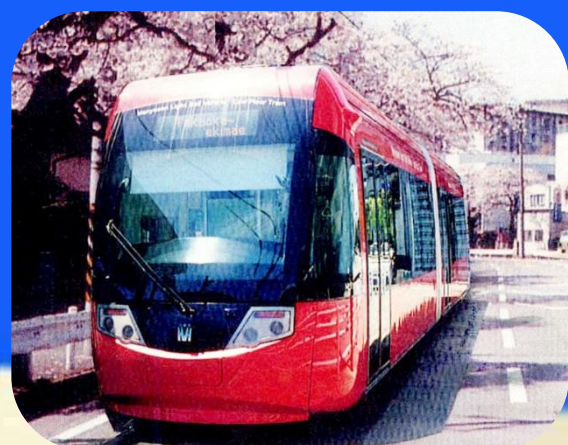
開港150年も過ぎ、200年へむかう

この日、未来の交通網を考えてみたい。

市民に惜しまれながら消えた路面電車を

次世代型路面電車・LRTとして迎えたい。

たくさんの方の星の物語を乗せて――。



本牧を走る！次世代型路面電車(イメージ写真)

本牧LRT協議会

事務長 二藤 忠



事務局

Tel:050-5526-1461

横浜市中区根岸町2-100

「温故創新」こそまちづくりの基本 !!



2011年3月11日、東日本大震災の発生と福島第一原子力発電所事故により、エネルギーの供給から消費までの仕組みが大きく様変わりし、原子力を含めた「広域的なエネルギー供給体制」から、太陽光や地熱など自然エネルギーを有効活用した「地産地消型供給体制」への転換が必要になりました。

本牧地区は「日本の中の小アメリカ」または「リトルアメリカ」と言われてきました。過去の精査により、実現可能な本牧地区の再生策が見えてきます。国際観光港「大さん橋」に年間約128隻入港する客船の乗客（富裕層）を東日本エリアの観光地に導く方策、あるいは近未来型に変えた次世代型観光列車を「大さん橋」にポート・トレインとして乗り入れることにより、東日本エリアの観光地を見据えた国際観光交流システムを構築できます。

ECOエネルギー地産地消のスマートシティ・本牧

ブランド本牧に「市民力」で、LRT導入を…!!

現在の路線バスのみによる本牧の公共交通システムは、商店街の活性化はもちろん、「まちづくり」においても改善しなければならない最重要課題といっても過言ではありません。横浜文化を代表する“地”として知られる私達の街一本牧。

この素晴らしい街を再び新しい文化発信の地へ……。そのまちづくりの第一歩が巡回ミニバスと一体運行を考えた次世代型交通システム“LRT”です。

その実現を私達「市民力」で一。

